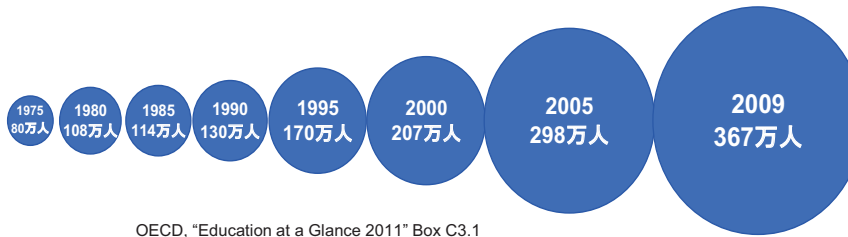


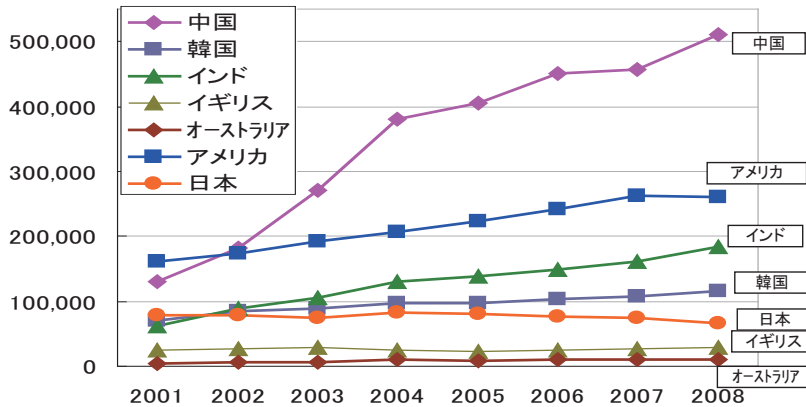
拡大するStudent Mobility

過去30年間で、全世界の留学生数は大幅に増加し、1975年の80万人から2009年の367万人へ、4倍以上の増加



OECD, "Education at a Glance 2011" Box C3.1

各国における学生の海外派遣者数推移



出典)
 中国・韓国・インド・イギリス・オーストラリア: OECD「Education at a Glance」
 アメリカ: IIE「Open Doors」
 日本: アメリカへの留学生はIIE「Open Doors」、中国は中国教育部、
 その他の国はOECD「Education at a Glance」、UNESCO「Institute for Statistics」

日本とアジア地域での経済活動の進展と国際交流

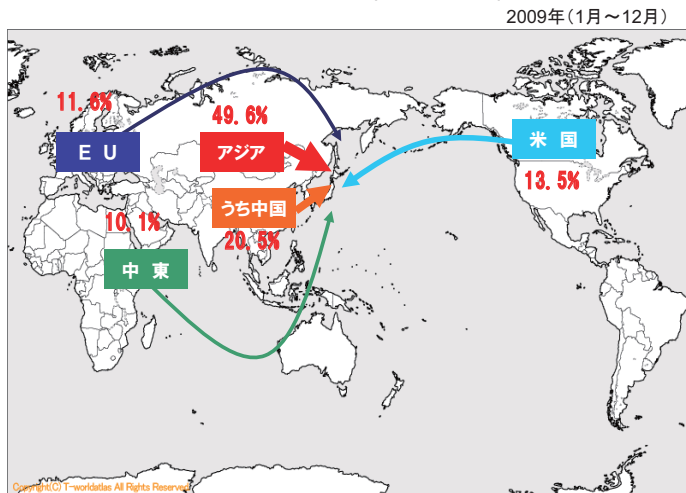
日本の貿易相手国のシェアをみると、アジアが5割占めており、うち中国が2割となっており、アジア圏の比重が大。

20年後にはアジアが世界GDPの4割を占める時代へ。

鳩山総理が掲げる東アジア共同体構想の実現に向けた大学間交流の促進が必要。

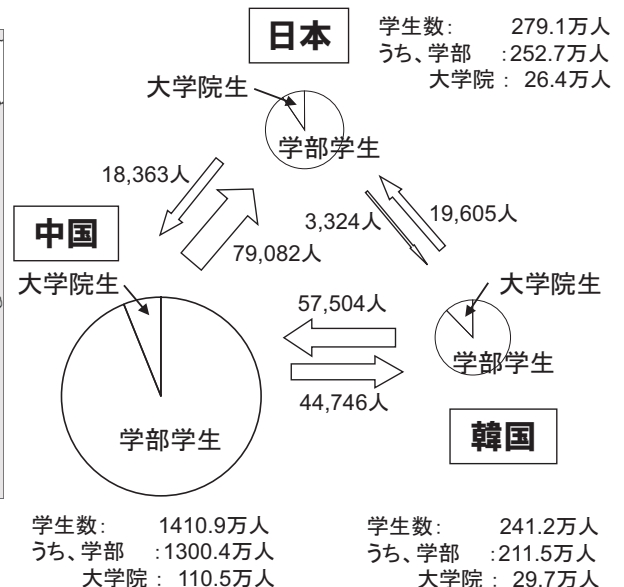
アジア市場におけるヒトの交流を飛躍的に拡大。

○日本の貿易相手国のシェア(貿易総額)



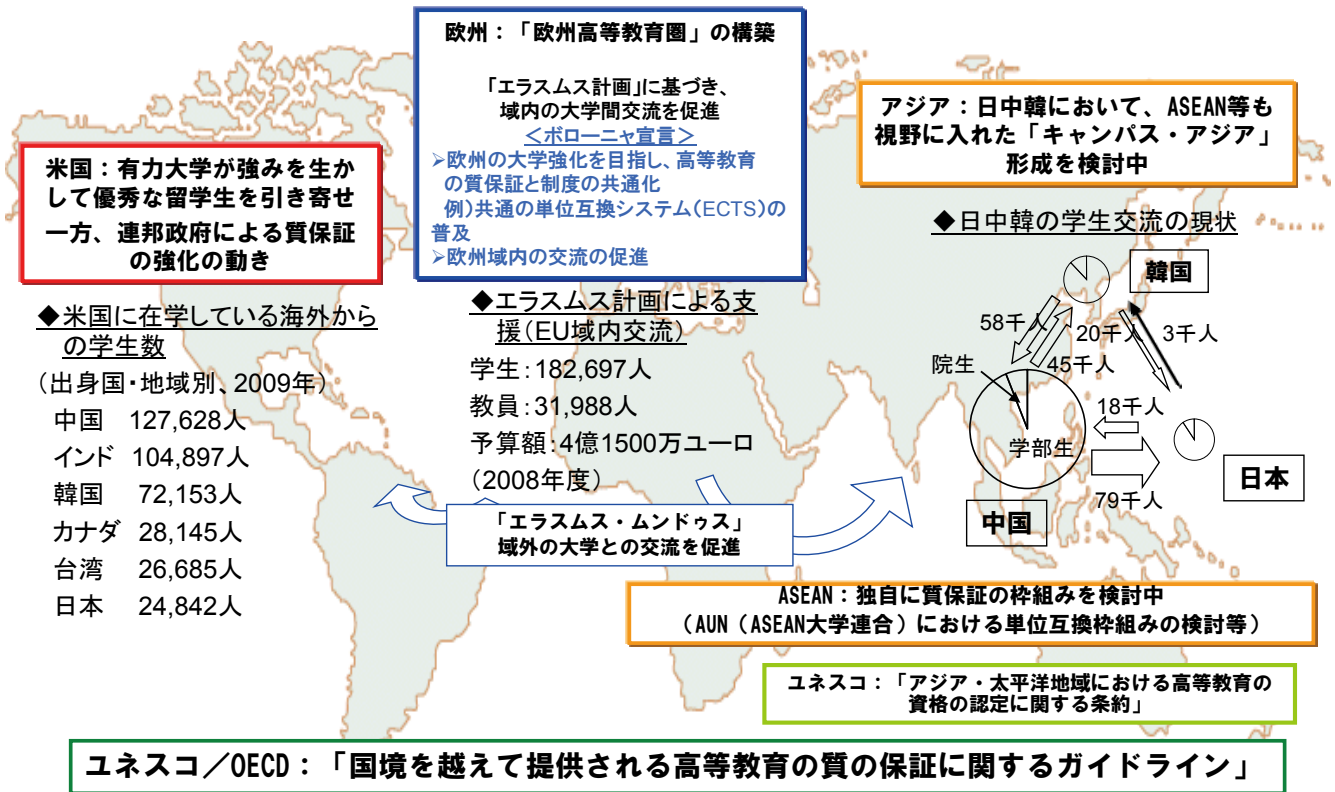
(出所) 財務省資料より作成

○日中韓の学生交流の現状



世界的な高等教育圏の動向

国境を越えて、戦略的に質保証・学生の双方向交流を促進。



高等教育の国際的な質保証・交流を巡る世界の動向

